

一年の最後の学期、第三学期に入つた。昨年の四月以来保育して来た子供達の最後のしめくりの時である。菓立ちゆく子供等にとつては、一年或いは数年にわたる幼稚園生活の最後の思い出の時であり、年少の子等についても、先生として一年を預かつて来た経験には尽きぬものがあるであろう。子供達も進歩し、変化したるが、先生自身も子供達との接触を通して進歩し、変化したに違いない。一年の変化のあとを、正當に評価して、

次の時のための資料とすることは大切なことである。単なるテストの上の評価ではなく、現実の子供のありのままの変化を捉え、一人一人の子供を、我々同じ人間の仲間としての同情と共感をもつて理解したい。

本号に寄せられた、森本、新井両氏の文は、両氏がそれぞれの地方に見出された手軽な材料をいかに適切に保育室の中

### 編集 後記

に持ちこまれたかを示している。単に市販に備えられた材料だけではなく、身のまわりから手軽に利用出来る材料がいろいろあるであろう。古い歴史を持つた地方では、郷土に伝えられた種々の遊びの材料を保存したいものであるし、又各地に特有の産業の副産物を利用してゆきたいものである。

善方氏に掲載いただいた製作調査の資料は、最近の東京都の保育界の実態の一横断面を示すであろう。海氏より執筆頂いた原稿は、幼稚園の現場から出て来た研究として優れたものである。現場の研究が、どのような形でなされたものかについては、今後保育界の層研究すべき問題であり、いろいろの研究が今後読者から寄せられることを希望する。

## 幼児の教育 第五十四巻 第二号

定価金五十円

昭和三十年一月二十五日印刷

昭和三十年二月一日発行

東京都中野区千光前町一〇

編集兼 倉橋惣三  
発行者

東京都文京区大塚町三五  
お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村町五番地

印刷所 凸版印刷株式会社

発売所 東京都千代田区神田小川町二ノ五  
株式会社 フレーベル館  
振替口座東京一九六四〇番

○本誌御購読についての御注文は発売所  
フレーベル館にお願ひ致します。